



2026 年 10 月 29 日

会 社 名 塩野義製薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 CEO 手代木 功
(コード番号 4507 東証プライム)
問 合 せ 先 コーポレートコミュニケーション部長 京川 吉正
TEL. 06-6209-7885

2027 年 3 月期 業績予想および年間配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役会長兼社長 CEO：手代木 功、以下「当社」）は、良好な業績動向等を踏まえ、2026 年 5 月 12 日に公表しました 2027 年 3 月期の連結業績予想を修正するとともに、本日開催の取締役会において、2027 年 3 月期の中間配当を、従来予想から 1 株当たり 2 円増配、前期と比べて 7 円増配の 40 円、期末配当について従来予想から 8 円増配の 46 円とし、年間配当として前期比 15 円の増配とすることを、決議しましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

2027 年 3 月期通期連結業績予想の修正（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）（百万円）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的 1 株当たり当期利益（円）
前回発表予想（A）	700,000	220,000	220,000	210,000	246.79
今回修正予想（B）	720,000	230,000	220,500	212,500	249.67
増減額（B－A）	+ 20,000	+ 10,000	+ 500	+ 2,500	－
増減率（％）	+ 2.9	+ 4.5	+ 0.2	+ 1.2	－
（ご参考）前期実績（2026 年 3 月期）	499,677	170,306	242,497	209,244	245.91
（ご参考）対前年増減率（％）	+ 46.1	+ 35.1	△ 9.1	+ 1.6	－

2. 業績予想修正の理由

当中間連結会計期間においては、売上収益およびすべての利益項目で、業績予想を上回りました。主な要因は、2025 年度に実施した成長投資^{1, 2, 3, 4}の成果が着実に業績として表れたことによるものです。

海外事業では、筋萎縮性側索硬化症（ALS）治療薬 RADICAVA に関する事業承継が円滑に進み、希少疾患の事業基盤の構築が着実に進展しました。また、従来からの強みである感染症領域では、欧米におけるセフィデロコルの販売が順調に推移しました。国内事業では、不眠症治療薬クービビック、鳥居薬品関連製品、ALS 等治療薬ラジカットなどの QOL 疾患領域の製品が伸長しました。COVID-19 の流行が想定を下回る中でも、これらの製品の伸長により、感染症の流行に左右されにくい安定的な収益基盤の構築が進みました。さらに、当社の収益基盤である HIV 事業についても、ヴィーブ社において、主力製品の経口 2 剤配合剤である Dovato に加え、今後の中長期的な収益源となる長時間作用型注射製剤である Cabenuva と Apretude の販売が、引き続き好調に推移し、ロイヤリティー収入および持分法投資利益が増加しました。こうした成長投資の成果と既存事業の堅調な推移が好調な業績を牽引しました。

これらの主要事業の好調な進捗を踏まえ、通期業績予想を上方修正します。海外事業では、RADICAVA 事業の順調な立ち上がりに加え、IntraBio 社の買収⁵により希少疾患を新たな成長領域と位置付け、米国に加え、欧州においても新たな事業基盤の構築を目指します。買収取引完了後には、ニーマン・ピック病 C 型（NPC）に伴う神経学的症状および毛細血管拡張性運動失調症（A-T）の治療薬 AQNEURSA の販売開始を予定しており、NPC および A-T 患者さまへの貢献を拡大します。国内事業では、市場浸透が加速しているクービビックのさらなる成長を見込んでいます。HIV 事業では、ヴィーブ社の好調な業績を踏まえ親会社である GSK 社が、ヴィーブ社の業績予想を引き上げたことに伴い、当社の受領するロイヤリティー収入および持分法投資利益が増加する見通しです。

一方、費用面では、IntraBio 社の買収に伴う無形資産の償却費や、米国事業の成長に向けた積極的な投資の継続により、販売費・一般管理費が増加する見込みですが、適切なコスト管理を行っていきます。また、研究開発費については、開発パイプラインの厳格な優先順位付けにより選択と集中を進める計画です。以上を踏まえ、将来の成長に向けた投資を継続しつつ、通期の売上収益とすべての利益項目の業績予想を上方修正します。

3. 中間配当および年間配当予想の修正について

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想（2026 年 5 月 12 日）	38.00 円	38.00 円	76.00 円
今回修正予想 ^{※1}	40.00 円	46.00 円	86.00 円
前期実績（2026 年 3 月期） ^{※2}	33.00 円	38.00 円	71.00 円

※1 中間配当については決定金額

※2 当社は、2024 年 10 月 1 日付で株式分割（1：3）を行っております。

4. 中間配当および年間配当予想の修正（増配）の理由

当社は、株主の皆さまに中長期的な利益成長をともに実感していただけるよう、成長投資と株主還元の最適なバランスを保ちながら、企業価値の最大化に向けた経営施策を推進しています。株主還元については、DOE 4%以上を目安とした安定的な配当を基本方針としています。

上述の業績予想修正の理由に記載のとおり、2025 年度から実施している成長投資の成果が着実に業績に反映され、当社の収益基盤およびキャッシュ創出力は大幅に強化されています。こうした事業成長の成果を株主の皆さまへの還元にもつなげていくという考えのもと、中間配当および年間配当予想の修正（増配）を決定しました。今後の成長戦略や資本効率、財務規律を踏まえたキャピタルアロケーションおよび株主還元の方針については、来年度公表予定の次期中期経営計画において、改めてお示しする予定です。

これらを総合的に勘案した結果、前回発表（2026 年 5 月 12 日）の中間配当を、従来予想から 1 株当たり 2 円増配、前期と比べて 7 円増配の 40 円、期末配当については従来予想から 8 円増配の 46 円とすることとしました。これにより、中間配当と合わせた年間の配当金は、前期と比べて 15 円増の 1 株当たり 86 円となり、15 期連続の増配となる予定です。

以 上

[お問合せ先]

塩野義製薬ウェブサイト お問い合わせフォーム：

<https://www.shionogi.com/jp/ja/quest.html#3>.

参照：

1. [プレスリリース：2025 年 5 月 7 日](#)
日本たばこ産業株式会社の医薬事業の会社分割（簡易吸収分割）及び Shionogi Inc.による Akros Pharma Inc.の株式譲受（孫会社化）に関する合意書締結のお知らせ
2. [プレスリリース：2025 年 5 月 7 日](#)
鳥居薬品株式会社株式（証券コード：4551）に対する公開買付けの開始に関するお知らせ
3. [プレスリリース：2025 年 12 月 22 日](#)
田辺ファーマからの筋萎縮性側索硬化症等治療薬エダラボン事業の買収に関するお知らせ
4. [プレスリリース：2026 年 1 月 20 日](#)
ViiV Healthcare Ltd. への追加出資による持分法適用関連会社化について
5. [プレスリリース：2026 年 10 月 5 日](#)
米国 IntraBio 社の完全子会社化に関するお知らせ